

令和5年度福島県農業総合センター農業短期大学校学校関係者評価

学校関係者評価委員の評価

| 評価項目 | | 評価（○印をご記入ください） | | | |
|--|--------------------------------------|----------------|---------|----------|--------|
| | | A | B | C | D |
| 1 | 自己評価の実施方法は適切か （重点目標、評価項目の設定は適切か） | 適切である | ほぼ適切である | やや不適切である | 不適切である |
| | ○ | | | | |
| 【改善に向けた助言】 複数年度で同一項目について評価することが重要と考えられるが、そのようになっており評価できる。学校評価、高校訪問時のヒアリング等、対外的な情報収集と研究はおおむね適切である。 | | | | | |
| 2 | 取組は適切か （重点目標を受け、具体的な方策 方策は適切か） | 適切である | ほぼ適切である | やや不適切である | 不適切である |
| | ○ | | | | |
| 【改善に向けた助言】 今後想定される学生確保が難しい時代にどう対応するか研究を続け、学校に託された使命、存在意義を職員が理解・共有し、小さなことからでも形にして欲しい。 学生確保についてHPやSNSの有効活用がなされている。 矢吹町との連携は評価結果が示されていない。 継続的な改善のしぐみがあるとさらに良いと思われる。 | | | | | |
| 3 | 自己評価は適切か （自己評価の結果は適切か） | 適切である | ほぼ適切である | やや不適切である | 不適切である |
| | ○ | | | | |
| 【改善に向けた助言】 高校訪問はかなりの実績が認められ、評価を上方修正しても良いのではないかと考えられる。 学校評価を受けての課題認識はほぼ適切に行われおり、その内容を広く共有して欲しい。 | | | | | |
| 4 | 改善策は適切か | 適切である | ほぼ適切である | やや不適切である | 不適切である |
| | ○ | | | | |
| 【改善に向けた助言】 教員の教育方法に問題があるとの指摘に対して、資質向上のための方策を始めており評価される。 学生寮の改善や海外研修の成果は素晴らしい。また恵まれた施設、農場で充実した実践教育がなされている。今後は高校のICT化や学びの変革をふまえ、授業の指導の改善を図って欲しい。 策の設定は課題にほぼ沿っていると思うので、いかに実行するかそこが重要で、職員が同じ方向を向いて取り組んで欲しい。 | | | | | |

【その他の意見】

- ・情報発信については SNS を積極的に活用した展開が望ましいと考えられます。大いに期待しております。
- ・アンケートには批判があがりやすく、良い点などはあがりにくい。このことを考慮した上で改善策を実施されており、評価される。
- ・農業高校にとって農業短期大学校は大変重要な進路である。少子化の時代ではあるが、農業を持続可能なものとするため、農家、非農家を問わずより多くの生徒が農業高校から農業短期大学校に進学し、農業後継者や関連従事者、また指導者となるよう、今後とも連携をお願いする。
- ・教職員の評価、保護者の評価で厳しい意見があるが、適切な評価については対応すべきと考えられる。
- ・全体にわたり教職員の皆様のご努力、ご尽力に敬意を表する。
- ・学生数、入学者数増加に向けた取組み、中でも県外者を対象とした取組みをさらに工夫されることを期待する。
- ・就農率が全国平均 50% に近くなってきた。学生の就農意欲を持たせるきっかけ作りなども評価される。
- ・新施設、キャンパス整備、環境整備が整うことをきっかけに、本校のさらなる PR や特徴を明示し、今後のミッションを明らかにすることが期待される。
- ・海外研修は多くの成果があったと推察され高く評価される。継続が期待される。